



この町で暮らしたい、この町が大好きだから…

# 「ねがい」合唱組曲 楽譜集



2016/1/7 作成

「ねがい」実行委員会

# 第1章 春のひかり

詩 佐伯 洋

曲 豊田光雄

Moderato

*mp*



ひ と つ の は な が さ い た か ー ら  
あ た り に い く つ も の は な が さ い た か ら



は る が き た の だ と は い え ま せ ん  
は る が き た の だ と も い え ま せ ん



さ い ご の は な が だ れ に も ま た れ て



あ な た に ま た れ て あ あ は な が ほ な が ー



さ い ご の は な が さ い た と ー き



は る が き た の だ と ー い え る の で す よ ね よ ね

# 第2章 リュックサックをよいしょとかつぎ

詩 佐伯 洋  
曲 豊田光雄

Moderato

① おとうさんは はちじゅうよんさい 入院してーいます  
② おとうさんの にゆういん(えい) つづいてーーーいます

1.

① いえにはだれも おりません あゆみさんには ショートステイが

まいにちの いばしょ まいにちつくえの うえの

2.

しゃしんをみてーいます あじさいに ふる あめが

やみま せー ン あゆみさんは つぎのショートへ

でかけます にもつをかかえ よいしょと でかけます

おとうさんの

入院 いつーおわる げんきでかえつて

第2章 リュックサックをよいしょとかつぎ

きてほしい ショートステイは なめかかんで くぎりです

にもつはだんだん おおきく なります つぎのショートも

つなぎのしせつ わたりあるいて くらしてー ーいます

あゆみさんに くぎりが一 またきます

おでこのあせを ひとつき セミしぐれに みおくられ

【朗読】

(BGM) 15 ぬいぐるみの くまさん だいて

つぎにはどこの まちでしょう あゆみさんは つぎのショートへ

バスでいどうの ひびが つづきまーす

*mp* <コーダ> かきのみが かきのみが うれたあと うれたあと

こがらしが ふきはじめます *pp*

どんなあしたを  
**第3章 子どものしあわせ**

詩 佐伯 洋  
 曲 豊田光雄

♩ = 104

*mf*



わたしがげんきなうちは  
 いまではちいきになじみ



かぞくがげんきなうちは ぎりぎり ささえ て  
 いつしかえがおが うまれ か たみ ち き っ ぶ の



ささえあっ て おなじ あおぞらのしたに  
 この一じんせいを おなじ カレンダー めくり



くらしできた かぜのふくよるに  
 くらしできた ほしのふるよるに  
 (※)バスをまつごこに



むねのうちに { つきあげるこども のしあわせ さ  
 こみあげるこども のあしたを さ  
 おもうことこども がいたから が



きざきを どん なばしよで  
 きざきを どん なひとと } いきてゆく の  
 んばれた どん なあすを



が こどものしあわせ なのだろ う

# 第4章 雪の降る朝に

作詞 佐伯 洋  
作曲 たかだりゆうじ

♩=ca.86  
intro

1. ゆ き

の ふ る あ さ に (こ こ る に わ い て く る お も い わ が  
や す ま ず つ も り く る お も い で あ

こ い に あ ゆ ん で き れ た ) さ か み ち  
い は げ ま で き れ た )

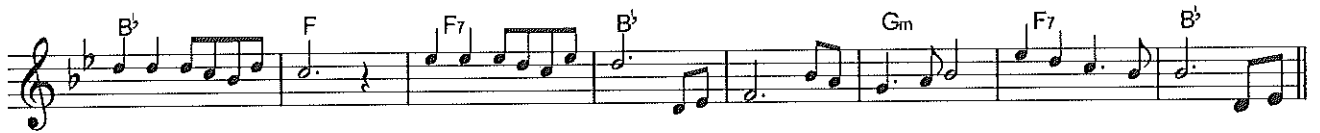
あ の こ ろ は ( が む り し や え ら ず に 生 き て き た )  
か む り し や え ら ず に 生 歩 き ん で き た )

わ が こ と と も に わ た し も ( と し を か さ ね た )  
と し を か さ ね た ) ( じ ん せ い を き ざ ん た )

す み な れ た こ の ま ち に ( あ ん し ん の 居 場 所 を  
し ん ら い の 居 場 所 を

シ ョ ー ト ス テ イ が ) も つ と ほ し い せ い か つ の 場 を  
グ ル ー プ ホ ー ム が )

く ら し つ づ け ら れ る 場 が ほ し い 2. ゆ き い  
1. B♭ 2. B♭



3. ゆき



の ふる あさ に わた しは そつと こぶ しを にぎる さあ



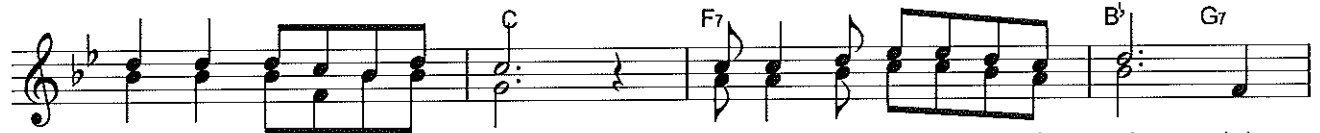
今日 も で か け よ う み ん な の な か へ



か じ か ん だ 手 を し ろ い い き で



そつと あ た た め て 今日 も で か け よ う



こ え を あ げ よ う か た り か け て ゆ こ う さあ



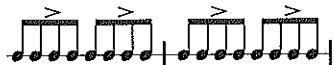
今日 も で か け よ う み ん な の な か へ



み ん な の な か へ み ん な の な か へ

# 第5章 いい仕事がしたい

作詞 佐伯 洋  
作曲 たかだりゅうじ



♩ = ca. 120  
D En/C D En/C A7 D

D G

くやしさがまんのこともある なみだをこらえることもある  
むなしさがまんのこどもあもる なげきをこらえることもあ  
わらわせじょうずににきも の なやさいひとみのとものがいる

G D B7 Em

このみちは とのうげみち まっこのうから  
このみちは とのぼくみるみち まっこのうから  
このみちは とのつくるみち まっこのうから

A7

かかぜがふき おおろし てく るるち  
かかぜがにふむか おおろしのほてるくみ るるち

G D

あなたのおがー ぼくの生きた  
あなたのおがー ぼくらの生きた  
あなたのおがー ぼくらの生きた

C A7 D

しんらいのきずな つくろ うー さがえ てささー えら れてー  
あなたかんのふくし つくろ うー さがえ てささー えら れてー  
あなたかんのふくし つくろ うー さがえ てささー えら れてー

E> A7 G> A7

1~3. い い し ごと がー し た い ー ①イエーイ!  
②ソウダー!  
③イクソー!

D G D A7 D

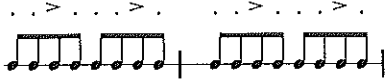
ぼくらはこのまちのー ぶくしにはたらい ているー D.S.



# 第6章 クッキーづくりだよ

作詞 佐伯 洋  
作曲 たかだりゆうじ

Dance pop



歌い方 / 1 → 2 → 3

1

♩ = ca. 110  
B♭ intro



2



1. しろいほうしにしろマスキウわぎで みじたくきめ てりだて  
2. こむぎをくさくしたまごませ しろいうたぶでリン むいたねりあ がンけ  
3. カターをとったさして なくろたい り焼くをぞオーブ 焼くをぞオーブ 焼くをぞオーブ 焼くをぞオーブ  
4. すこしをさして なくろたい り焼くをぞオーブ シー ル は た ら



こくさいんこむぎにも こだわって てててててててててててててててて  
さぎいちゅういむつちうに ここだわって てててててててててててててててて  
もきもりつけは いちうち に ここだわって てててててててててててててててて



こや ころ はい プあ ロの ー パ テ シ ー エ だ  
あ さ りま はい かお じに の 仕 上 げ ー お だよ  
げ ん まき と えが お りの を い い ど げ ー お よ う



ほんとにそうだねー ソレ! どうだいどうだいー



クッキキー づくりにはー うでがー なとー るけだす  
クッキキー づくりのー うまじと かつど がせー なくま  
いのちのクッキー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

3

ending



# 第7章 人間の声

作詞 佐伯 洋  
作曲 たかだりゆうじ

ゆっくりと

いつの間にか われ知らず

ふかい溜息をついている自分に気づきます。      うちの子は世の中の何の役にも

立っていませんが      ゆく先々が 将来が      心配でなりません

*a tempo*      うちの子も      世の中の      ええ、世の中の      何の役にも立っていませんが…

このとき      にんげんの      こえ      がひびい      た

ちからづよく      ひびいた      -      とおくからきて

目のまえ      で      ひびい      た      -

よのなかの      なんのやくにも      立っていないなんて      そんなこと

いわせるしゃかいにしては -      なりませんよ      -      どしゃ

ぶりのあめ あめ あめー ひとりぼっちで 立ちすくんだ

日もあつ た そのかなしみが つかければふ

かいほどに しんぼうづよい ひとたちが いる おれ

そうな こころを しなやかに たえてい

る いのちをー ねがいを ひびきあわせる

ひとたちが いる にんげんの こえが ある

ゆるぎない にんげんの こえが ある

# 第8章 こころの窓をひらこう

躍動感をもって

♩ = ca.124

作詞 佐伯 洋・堤 康浩

作曲 たかだりゆうじ

1. ふゆのうわぎをぬいでー はるのひざしのなかにー  
 2. なかまのえがおとともになー みどりのかぜーにのせてー

あゆみをーはこぼう) こころのまどをひらこうー  
 ねがいをーつなごう)

(すべてのひとにしあわせがー とどけられるようにー  
 (みらいにむけーて きぼうをーもちつつけられるようにー

ちいさいものーや やさしいものが  
 たいせつなひとや いとしいひとが

きずつくるところのないうようにー) こ  
 なみだすところのないうようにー)

のまちでくらしたいこ

のまちがだいすきーだからー

B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> C7 A<sup>b</sup> F7

さあ おいでよ — ひとりぼっちじゃ ないんだよ —

B<sup>b</sup> E<sup>b</sup> V

こころのまどを ひらこう — (はるのひざしの なかに — あゆみどりのかぜ — へのせて — ねが

B<sup>b</sup> F7 B<sup>b</sup> A<sup>b</sup> to C

みを — はこぼう ( — )  
いを — つなごう ( — )

B<sup>b</sup> A<sup>b</sup> F E<sup>b</sup> F7 Coda f

さあ おいでよ

E<sup>b</sup> A<sup>b</sup>

— みんな おいでよ —

B<sup>b</sup> ff イエーイ!

Ah

# 合唱組曲「ねがい」

～この町で暮らしたい・この町が大好きだから～

作詩：佐伯 洋

作曲：豊田 光雄・たかだりゅうじ

指揮：西 恒人

ピアノ：富田 美穂

## ①春のひかり

ひとつの花が咲いたから

春が来たのだとは 言えません

あたりに いくつもの花が咲いたから

春が来たのだとも 言えません

さいごの花が

誰にも待たれて

あなたに待たれて

ああ 花が

さいごの花が咲いたとき

春が来たのだと 言えるのですよね

## ②リュックサックをよいしょとかつぎ

～障がい者の生活はコマ切れショートでは守れない～

一、お父さんは八四歳 入院しています

家には誰もおりません

あけみさんにはショートステイが毎日の居場所

毎日机の上の写真をみています

二、お父さんの入院つづいています

あじさいに降る雨がやみません

あけみさんは次のショートステイへ出かけます

荷物を抱えよいしょと出かけます

三、お父さんの入院いつ終わる

元気で帰ってきてほしい

ショートステイは七日間で区切りです

荷物はだんだん大きくなります

四、次のショートもつなぎの施設

わたり歩いて暮らしています

あけみさんに区切りがまたきます

おでこの汗をひとふき セミしぐれに見送られ

「利用期日が切れるたびに転々と移動せざるを得ない現実。ロングショート…変な言葉。福祉制度の枠がひとつながりの人の暮らしをカマボコのようにこま切れにしているのです。行政を変えていきたい残念な現実です。あけみさんは、リュックサックをよいしょとかつぎます。」

五、ぬいぐるみのくまさん抱いて

つぎにはどこかの町でしょう

あけみさんは次のショートへ

バスで移動の日々がつづきます

柿の実が熟れたあと 木枯しが吹きはじめます

## ③どんなあしたを・子どものしあわせ

一、わたしが元気なうちは 家族が元気なうちは

ぎりぎり支えて 支えあつて

おなじ青空のしたに暮してきた

風の吹く夜に

胸のうちに突きあげる

子どものしあわせ

どんな場所で生きてゆくのが

子どものしあわせなのだろう

二、いまでは地域になじみ いつしか笑顔が生まれ

片道キップのこの人生を

おなじカレンダーめくり暮してきた

星の降る夜に

胸のうちにこみあげる

子どものあしたを さきざきを

どんな人と生きてゆくのが

子どものしあわせなのだろう

《朗読》少し表現は変わるが…

送迎バス待つ午後の 陽ざしを浴びている私

子どもの背丈も ずいぶん伸びた

おなじ親同士のなかで育てられた

バスを待つ午後に

胸のうちに思うこと

子どもがいたから がんばれた

どんな明日を生きてゆくのが

子どものしあわせなのだろう

#### ④雪の降る朝に

##### 一、雪の降る朝に

心に湧いてくる思い  
わが子と歩んできた坂道  
あのころはがむしゃらにやってきた  
わが子とともに 私も年齢を重ねた  
住み慣れたこの町に 安心の居場所を  
ショートステイがもっとほしい  
生活の場を 暮しつづけられる場がほしい

##### 二、雪の降る朝に

やすまず積もりくる思い  
出会いに励まされた坂道  
あのころは振りかえらずにやってきた  
わが子とともに 私も人生を刻んだ  
住み慣れたこの町に 信頼の居場所を  
グループホームがもっとほしい  
生活の場を 暮しつづけられる場がほしい

##### 三、雪の降る朝に

私はそっとこぶしをにぎる  
さあ 今日も でかけよう  
みんなのなかへ  
かじかんだ手を 白い息で  
そっとあたためて  
今日も でかけよう  
声をあげよう  
かたりかけてゆこう  
さあ 今日も でかけよう  
みんなのなかへ  
みんなのなかへ  
みんなのなかへ

#### ⑤いい仕事がしたい

##### 一、くやしさがまんのこともある

なみだをこらえることもある  
この道は峠道  
まっこうから風が吹きおろしてくる  
あなたの笑顔がぼくらの生きがい  
信頼のきずなをつくろう  
ささえて ささえられて  
♪いい仕事がしたい

♪ぼくらはこの町の福祉ではたらいている

##### 二、むなしさがまんのこともある

なげきをこらえることもある  
この道はのぼり道  
まっこうから風が吹きおろしてくる  
あなたの元気がぼくらの楽しさ  
あたたかな職場をつくろう  
ねがいを かさねあわせ  
♪いい仕事がしたい  
♪ぼくらはこの町の福祉ではたらいている

##### 三、笑わせ上手の元気者

やさしいひとみの友がいる  
この道は切り拓く道  
どっこい坂 風に向かって登る道  
あなたのいのちに寄りそうしごとだ  
にんげんの福祉をひらこう  
ふれあう肩があたたかい  
♪いい仕事がしたい  
♪ぼくらはこの町の福祉ではたらいている

#### ⑥クッキーづくりだよ

##### 一、白い帽子に白マスク

白い上着で身支度きめて  
国産こむぎにこだわって  
粉をふるいにかけている  
心はプロのパテシェだ  
♪ほんとにそうだね それ どうだいどうだい  
さあ、クッキーづくりに腕がなる

##### 二、こむぎサクサクたまご混ぜ

バターたっぷりいい練りあがり  
素材いくつもこだわって  
いちごココアにチョコレート  
やさしい味に仕上げるよ  
♪ほんとにそうだね それ どうだいどうだい  
さあ、クッキーづくりはまかせとけ

##### 三、カタをとったら並べたら

焼くぞオープンスイッチ・オンだ  
気持ち集中こだわって  
もうすぐ焼けるどっきどき

あたりいったいいいにおい  
♪ほんとにそうだね それ どうだいどうだい  
さあ、クッキーづくりの実力だ

《間奏》

四、すこし冷まして袋入れ

シール貼ったら値札をつけて  
盛りつけ配置にこだわって  
籠を積みこみ出発だ  
元気と笑顔をとどけよう  
♪ほんとにそうだね それ どうだいどうだい  
さあ、おいしいクッキーとどけます

⑦人間の声

BGM

A いつの間にか われ知らず

ふかい溜息をついている自分に気づきます  
うちの子は 世の中の  
何の役にもたっていませんが  
ゆく先々が 将来が 心配でなりません

B うちの子も 世の中の ええ、世の中の

何の役にもたっていませんが…

BGM…天空のバネのような異形のひびき

《歌唱・女性》

この時 人間の声がひびいた カづよくひびいた  
遠くからきて 目の前でひびいた

《歌唱・男性》

世の中のなんの役にもたっていないなんて  
そんなことを言わせる社会にはなりませんよ

《合唱》

どしゃぶり雨々々  
ひとりぼっちで立ちすくんだ目もあった  
その哀しみが深ければ深いほどに  
しんぼうづよい人たちがいる  
折れそうな心をしなやかに耐えている  
いのちを ねがいを  
ひびきあわせる人たちがいる  
人間の声がある  
ゆるぎない人間の声がある

⑧ねがい・こころの窓をひらこう

冬の上着を脱いで  
春の陽射しのなかに歩みをはこぼう  
こころの窓をひらこう  
すべてのひとにしあわせがとどけられるように  
ちいさなものや やさしいものが  
傷つくことのないように  
この町で暮らしたい  
この町が大好きだから  
さあ おいでよ  
ひとりぼっちじゃないんだよ こころの窓をひらこう  
春の陽射しのなかに  
歩みをはこぼう  
さあ おいで おいで おいでよ

軽快なマーチ。作業所、保育園、父母、おとしより、車椅子の  
ひと、職員も、関係者も、マーチにのって登場。タンバリン、  
竹、カスタネット、さまざまに楽器を手をしている人もいる

《以下の一～四、振り付け踊り歌》

⑨あくしゅしてはくしゅ（握手して拍手）

一、ほーら ごらん ほらごらん

とんぼがとんでる 秋の空  
だーいすきだよ バス旅行  
えーい えーいとだーいすきだ  
てとてをあわせて あくしゅ（握手をする）  
うれしいときには はくしゅ ハイハイ ハイハイ  
あくしゅして とんとん  
はくしゅして とーん とん とんとんとん

二、ほーら ごらん ほらごらん

こなゆき降ってる 冬の空  
だーいすきだよ クリスマス  
えーい えーいとだーいすきだ  
となりのひとにも あくしゅ  
うれしいときには はくしゅ ハイハイ ハイハイ  
あくしゅして とんとん  
はくしゅして とーん とん とんとんとん

三、ほーら ごらん ほらごらん

さくらが咲いてる 春の空  
だーいすきだよ お花見だ



エーイ エーイとだいすきだ  
となりのひとにも あくしゅ  
うれしいときには はくしゅ ハイハイ ハイハイ  
あくしゅして とんとん  
はくしゅして とーん とん とんとんとん

四、ほーら ごらん ほらごらん  
にゅうどうぐもだよ 夏の空  
だーいすきだよ みずあそび  
エーイ エーイとだいすきだ  
あしたもあえるね あくしゅ  
うれしいときには はくしゅ ハイハイ ハイハイ  
あくしゅして とんとん  
はくしゅして とーん とん とんとんとん

やったぞ やったぞ やったぞ (拍手)  
すごいぞ すごいぞ すごいぞ (拍手)  
わららか わららか  
笑顔で わららか ゴーゴーゴー (もっと拍手)  
エイ エイ エーイ (満場の拍手)

希望の種を蒔きながら  
ひかる小さな星が見える  
この道は のぼり道  
まっこうから風が  
吹きおろしてくる  
希望の種を蒔きながら  
もっと高く もっと高く  
歩んでいこう  
肩を寄せあいながら  
希望の種を蒔きながら  
もっと高く もっと高く  
歩んでいこう  
肩を寄せあいながら

## (愛唱歌) ときのつばさに

一、窓をあければ風さわやかな五月  
太陽のめぐみをたたえる若葉のみどり  
ふりあおげば雲は流れて遠い日の思い出  
ああ ときは旅人  
心のなかのあの人にあいさつをしよう  
ときのつばさに ねがいをのせて

二、かぎろい立つ地平はるかな真夏  
山脈のすそ野を巡って川はしづかに  
遠く蒼く水は流れて青春の思い出  
ああ ときは旅人  
心のなかのあの人にあいさつをしよう  
ときのつばさに ねがいをのせて

三、空の青さがひとみにしみる九月  
もみじ葉は木陰にひっそり風にしたしむ  
耳を澄ませば時は流れて遠い日の呼び声  
ああ ときは旅人  
心のなかのあの人にあいさつをしよう  
ときのつばさに ねがいをのせて  
歌の翼にねがいをのせて  
あかくぬれてる ゆうやけのそら

### 「ねがい」実行委員会

呼びかけ人  
吉川 喜章 (障友会) 浦郷津留子 (こころの窓)

賛同団体 (2015.11.1現在)

社会福祉法人 こころの窓

社会福祉法人 障友会

社会福祉法人 コスモス

社会福祉法人 堺あけぼの福祉会

泉嶺ホーム

ピュアあすなろ

堺福泉療護園

パル茅渚の里

陵東館長曾根

じよぶライフだいせん

ふれあいサークル手話隊

障害者児の生活の場を考える会